

先日開催された洗足祭において、

中2はボランティアとディベートの2本立ての発表を行いました。

ディベートのテーマは、14日が国語の授業で行ってきた「臓器移植」、15日が夏休み課題の「集団的自衛権」でした。14日の予選では ADE 組が勝ち上がり、C組が敗者復活を果たしました。15日は準決勝を経て A 組対 E 組で決勝戦を行い、見事 E 組が優勝しました。両日ともたくさんの方にご観戦いただき、シルバーマウンテンで行われた決勝戦は100名近い方にお越しいただきました！おかげさまで生徒たちも普段以上に熱のこもった試合を展開できたようです。ありがとうございました。大人ですらきちんと語ることは難しいような高度な内容も、議論の中で噛み砕き、消化し、自らの血肉にしていってくれた彼女たちの底力に感服し、これからの活躍がさらに楽しみになりました。

ボランティアは夏休みの課題であったボランティアの体験レポートを中心に発表を行いました。準備の時間を共に過ごすことで、それぞれが経験してきた内容もお互いに共有できたようです。中2展示教室で行った東日本大震災被災地に送る募金活動で、26819円もの温かいお気持ちを受け取ることができました。この場をお借りして、ご報告とお礼を申し上げます。ありがとうございました。これらの中2展示の準備を先導してきたのは、実行委員長を中心とした学年の洗足祭実行委員たちです。計画を立てたり、生徒たちから出た展示のアイデアをまとめたりと、一生懸命現場を仕切ってくれました。中学2年生としての成長を感じる取り組みでした。

当日大活躍してくれたディベート代表選手と実行委員長のコメントを紹介いたします。

実行委員長

今年の洗足祭で中2展示の企画代表者を務めさせていただきました。

私たち HR 計画委員は4月18日の第1回洗足祭実行委員から約5か月間かけて準備をしてきました。お昼や土曜日の午後などを使い、何回も話し合いをしていましたが、実際文化祭準備期間になってみると決まっていないことが沢山あって、なかなか準備が進められず、自分たちだけの力で学年を動かす難しさを感じました。それでも、展示を完成させることができたのは、色々な相談にのってくださった先生方、協力してくれた中2のみなさん、そして何より長い時間一緒に準備をしてきた HR 計画委員のおかげです。ありがとうございました。



ディベート代表選手

私は最初、特に目立った役割に参加するつもりはなかった。しかし、予想外の大役がきてしまった。

現代文の授業で、ディベートのクラス代表に選ばれてしまったのだ。確かにディベートは楽しかったし、チームも円滑だったが、まさか選ばれると思っていなかったもので、正直びっくりした。けれど、選ばれたのなら勝ち残りたいという気持ちがどこかにあり、積極的に授業に取り組んだ。授業の時同様、全員で読んでマーカーをしていく作業は楽しかった。臓器移植については立論担当となったのでしっかりと書き上げ、集団的自衛権は賛成、反対どちらの側になってもよいよう両方の意見も考え、本番に臨んだ。

1日目のディベートでは緊張でひざが笑うという状態を経験した。普段はそんなに緊張しないのにとっても怖かった。2日目の午前は、一番集中できたと思う。質問担当としてほどほどの圧力をかけるように頑張った。決勝に進み、そこでアクシデントが起こった。最終弁論の台本をもらいそびれていたのだ。即興で書き上げ、結果は2位。悔しかったけれど、嬉しかった。

今年の文化祭は本当に充実していたと思う。やることのないよりある方が絶対に楽しい！来年は実行委員になってみたい。

